

男性正社員を対象とする嫌がらせ、パワハラ行為が激増

2008年10月度の相談状況

1. 労働相談の概況

1) 相談者数・件数について

資料1「2008年10月、相談者数（雇用形態、男女別、業種別）より」

10月の相談者数は110人で9月（87人）より増加しています。
相談項目数は166件、一人あたり1.51件となっています。
相談者数では前年同月（87人）の126.4%、相談項目数では前年同月（166件）の122.9%と増加しています。

2) 男女別、雇用形態別相談者数

資料2「2008年10月、労働相談（男女雇用形態別・相談内容別）より」

男性75人（68.2%）、女性35人（31.8%）と男性が女性の倍以上となっており、雇用形態別では、社員52人、社員以外53人、不明5人となっています。

パートが20.0%（男性5.5%、女性14.5%）、臨時3.6%（男性1.8%、女性1.8%）、契約社員13.7%（男性8.2%、女性5.5%）となっております。

三つの相談者数で全体の37.7%です。

今年なって正社員からの相談数が増えています。前月から引き続いて過半数を占めており、非正規雇用の不安定な雇用は相変わらずですが、正社員、とりわけ男性社員の厳しい労働実態が浮き彫りになっています。

3) 業種別相談者数

資料3「2008年10月、労働相談（業種別、相談内容別）より」

業種別の相談者数は、多業種に分散していますが、「陸運・倉庫業」が16件（14.5%）、「ビル管理・警備業」15件（13.6%）、「卸・小売業・飲食店」14件（12.7%）、「その他サービス」14件（12.7%）、「建設・設計・重機」9件（8.1%）、「医療・福祉・医薬品業」7件（6.3%）、続いて製造業4件（3.6%）などです。

先月までは「卸・小売業・飲食店」がトップで続いていましたが、今回は「陸運・倉庫業」、「ビル管理・警備業」の相談が増えています。

4) 相談項目（内容）について

資料3「2008年10月、労働相談（業種別、相談内容別）より」

主相談項目別相談者数で10件以上の項目は「解雇・雇い止め・退職」(22件)、「就業規則・雇用契約」(21件)、「差別・嫌がらせ・セハラ」(16件)となっており、上位3項目で59件、35.5%です。

「残業手当、未払い」の12件を含む賃金関係は27件であり、解雇と賃金関係が相談内容の大半となっています。

5) 違法率

資料3「2008年10月、労働相談（業種別、相談内容別）より」

166件中、違法件数は61件、違反率は36.7%で、前年同月より4%の増加となっており、前月より、7%の減少となっております。

上位項目は「残業手当未払い」(12件)、「差別、嫌がらせ、セハラ」(7件)、「就業規則・雇用契約」(6件)、「経営問題、労務管理」(6件)となっており、総違法件数61件に対して占める割合は、それぞれ19.6%、11.4%、9.8%、9.8%で合わせて50.8%となっています。

2. 10月の雇用情勢

今月の相談者数は、前月比では増加(87人から110人)しており、相談者が増えており、相談内容は深刻化しています。

ここ数ヶ月、「差別、嫌がらせ、セハラ」が増えており、とりわけ男性の正社員を対象とする上司による嫌がらせ、パワハラ行為が増えており、このため極度のストレスのなかで重い精神疾患にかかるなど深刻な問題が発生しています。

相変わらず解雇と賃金関係が相談内容も多く、ここ数年にわたって長期に固定化しています。

雇用形態を問わず、雇用が不安定となり、低賃金、劣悪な労働条件のうえに、違法を強いられている実態は深刻です。

以上

【項目別参考資料】

1. 相談者数・件数について

資料1「2008年10月、相談者数（雇用形態、男女別、業種別）より」

2. 男女別、雇用形態別相談者数について

資料2「2008年10月、労働相談（男女雇用形態別・相談内容別）より」

3．業種別相談数

資料3「2008年10月、労働相談（業種別、相談内容別）より」

4．相談項目（内容）について

資料3「2008年10月、労働相談（業種別、相談内容別）より」

5．違法率について

資料3「2008年10月、労働相談（業種別、相談内容別）より」